

取扱説明書

スタビー・エア・ラチェット・レンチ

品番：#36511100 型式：331538

1. 使用方法

- ①本機とコンプレッサーの間に、エアフィルター・レギュレーター・エアブリケータ（3点セット）を取り付けて下さい。
 - ②3, エアインレットに、ゴムホースを取り付け、クイックカプラを取り付けて下さい。直接、3, エアインレットにクイックカプラを取り付けると振動によりカプラが外れ、ケガを負う恐れがあります。
 - ③使用前に、ゴムホース先端のカプラ部より、タービン（スピンドル）油（#60）を数滴注油して下さい。
 - ④4, 始動レバーを押すと、37, アンビルが回転し、離すと止まります。
 - ⑤34, 切替爪をF方向に切り替えると37, アンビルが時計回転方向に、R方向に切り替えると反時計回転方向に回転します。
 - ⑥37, アンビルに9.5mm[□]のソケットを挿入し、使用して下さい。ソケットを37, アンビルの半分まで挿入すると、ソケットが首振りし、斜め方向のボルト等に対して作業が出来ます。最後まで挿入するとソケットを固定する事が出来ます。
 - ⑦使用後は、ゴムホース先端のカプラ部より、タービン（スピンドル）油（#60）を数滴注油して、約10秒程度空回転して下さい。オイル注油を怠ると、本機内部に錆が発生し、故障の原因になります。
- ※4, 始動レバーを押しても本機が回転しない時は、1, ハウジングを軽く叩いて下さい。これは、16, ローターブレードの位置により空気の通り口を完全に塞いでしまうのが原因です。それでも本機が回転しない場合は、故障の可能性があります。

2. 注意事項

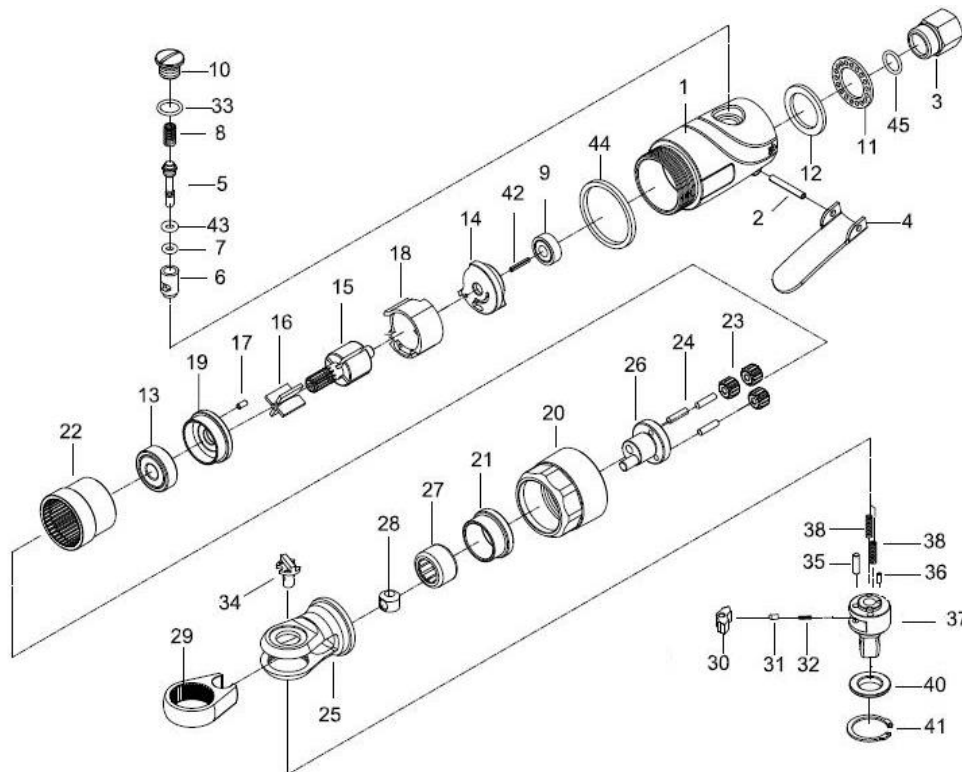
△警告（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。）

- ①本機の最大使用空気圧は、588kPa（6kg/cm²）です。それ以上の空気圧で本機を使用しないで下さい。
- ②本機の分解、修理、改造はしないで下さい。
- ③未使用時や、ソケットを交換する時は、必ず本機への空気の供給を止めて、本機をコンプレッサーから外して下さい。
- ④使用中や使用後直ぐに、回転部分には手を触れないで下さい。
- ⑤本機にソケットを付けた状態での空回転や、人に向けての使用はしないで下さい。
- ⑥本機への注油に、ガソリン、灯油等の可燃性物質を使用しないで下さい。
- ⑦4, 始動レバーを故意にロックさせて使用しないで下さい。

△注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。）

- ①本機に破損箇所がある場合、ソケット、アタッチメント、ゴムホースの破損、異常がある場合は、直ちに使用を中止して下さい。
- ②作業に適した服装、安全眼鏡、マスク、耳栓等を着用して作業を行って下さい。
- ③作業場所は常に整理して、作業関係者以外は、作業する場所に近付けないで下さい。
- ④本機は、ボルト、ナットの締め付け、緩める工具です。その他の用途には使用しないで下さい。
- ⑤ボルト等が緩まない時は、無理に続けて使用しないで下さい。
- ⑥本機を手動のラチェットとして使用しないで下さい。
- ⑦本機でボルト等を締めた際は必ず、手動工具を使用して増し締め、締結確認を行って下さい。

3. 部品分解図



品番	部品名称	品番	部品名称	品番	部品名称	品番	部品名称
1	ハウジング	12	ダンピングマテリアル	23	遊星ギア	34	切替爪
2	スプリングピン	13	ベアリング	24	ピン	35	ピン
3	エアインレット	14	リアエンドプレート	25	ラチェットハウジング	36	スプリングピン
4	始動レバー	15	ローター	26	クランクシャフト	37	アンビル
5	バルブシステム	16	ローターブレード	27	ニードルベアリング	38	スプリング
6	バルブブッシュ	17	スプリングピン	28	ドライブブッシング	40	ワッシャー
7	Oリング	18	シリンダー	29	ヨーク	41	リテーナーリング
8	スプリング	19	フロントエンドプレート	30	ラチェットボール	42	スプリングピン
9	ベアリング	20	クランプリング	31	スプリングキャップ	43	Oリング
10	バルブブラグ	21	ニードルハウジング	32	スプリング	44	ラバーリング
11	ディフューザー	22	インターナルギア	33	Oリング	45	Oリング